

平成 22 年 10 月 19 日 現地調査（健福） ■■■■■と協議 残土搬入は暫く中止要請 成形を急ぐよう指導した。明日木屑の撤去を行うと回答得る。月末にニブラが入るので日金、七尾の順番で作業すると言っていた。

平成 22 年 10 月 20 日 現地調査 健福、神奈川県庁職員、■■■■■、■■■■■ 土砂を掘削したところ木屑が大量に埋められていることを確認した。

平成 22 年 10 月 21 日 ■■■■■、■■■■■来庁 ■■■■■に苦情 経緯を説明した。熱土の用地管理課に相談に行くと言っていた。

平成 22 年 10 月 26 日 健福と協議 ■■■■■を調査した結果、進入路に敷均したレンガ混と同様なモノが現地にあったと情報提供受ける。

平成 22 年 10 月 29 日 現地調査 動きなし

平成 22 年 11 月 1 日 現地調査 動きなし 法面小規模崩落を確認

平成 22 年 11 月 2 日 健福と協議 法面崩落と木屑の対応について 結論出す

同日 ■■■■■より電話連絡 31日に■■■■■、■■■■■、■■■■■と協議するも話はまとまらなかったと報告受ける。

同日 ■■■■■より電話連絡 ■■■■■と連絡が取れないので市から連絡を取ってほしいと依頼を受ける。

平成 22 年 11 月 4 日 ■■■■■、■■■■■、■■■■■来庁 工期及び工法変更の手続をするよう再度伝えた。（主要は 35 万坪に 10m 道路を築造して市に移管する内容であった。）

平成 22 年 11 月 5 日 健福と協議 昨日の■■■■■来庁について報告した。10 日の合同会議に出席要請 ■■■■■に赤井谷の地山を切崩した土砂が搬入されているのではないかと情報提供受ける。

平成 22 年 11 月 10 日 現地調査 地山切崩し、ガラの掘起こしを確認した。

同日 ■■■■■より電話連絡 10m 道路計画の回答は？→今日会議で決定すると伝える。■■■■■跡地に宅盤整備のため赤井谷から土砂を搬入していると回答を得た。

同日 合同会議 東農、熱土、健福、市  
盛土は 1ha 以下で完了させる。道路計画は市としてどうするかは持ち越し。

平成 22 年 11 月 11 日 ■■■■■より電話連絡 結論が聞きたい。→もう少し待ってくれ→17 日までに回答がほしい。→連絡する。

同日 建設部、上下水道温泉部で協議 土地利用委員会に諮る そこで結論

平成 22 年 11 月 17 日 現地調査 健福 ■■■■■ 木屑選別作業を確認

同日 土地利用委員会 10m 道路協議には応じないと結論を出す。

平成 22 年 11 月 18 日 ■■■■■より電話連絡 10m 道路協議には応じられないと回答する。それならば、■■■■■所有地には一切立入りを禁止すると通告受ける。

平成 22 年 11 月 19 日 現地調査 健福及び■■■■■立会いで木屑を掘り返して C 工区横へ一時仮置き作業を確認 ■■■■■曰く「俺は関係ない。■■■■■を呼べ 等々文句タラタラ」

同日 健福と協議 木屑の大部分の撤去が終了したと情報提供受ける。進入路の産廃？について指導表を手渡したと情報提供受ける。

平成 22 年 11 月 30 日 健福と協議 重機及び鉄板が現場から引き揚げられていると情報提供受ける。関係各部署で指導文書を出したらどうかと相談受ける。

平成 22 年 12 月 2 日 現地調査 進展なし 重機なし

平成 22 年 12 月 3 日 伊豆山港の濁り確認

平成 22 年 12 月 7 日 県庁■■■■■に別件で出張 概要を報告した。

平成 22 年 12 月 10 日 健福と協議 ダンプ 1 台程度の土砂が新たに搬入されたと情報提供受ける。

平成 22 年 12 月 14 日 健福から土砂搬入（2～3 台程度）の情報提供電話

平成 22 年 12 月 24 日 現地調査 C 工区横に木屑（4 t 1 台程度） 新たな投棄を確認

平成 23 年 1 月 6 日 ■■■■■来庁 赤井谷を含め売却する可能性を示唆